

You Tube
録画中継は
こちらから

江　渡　信　貴
（自民公明クラブ）

ガバメントクラウドファンディングを有害鳥獣対策に活用しては

前向きに検討する

問　有害鳥獣による農作物の被害額と面積は。

答　主にイノシシによる長芋や水稲への被害が発生し、昨年度は47件、被害金額は約465万円、面積は約２ヘクタールと、記録の残る平成27年度以降でいずれも過去最高となります。

問　ガバメントクラウドファンディング（※）を活用し、対策に充てることはできないか。

（※ふるさと納税の仕組みを活用して、地方自治体が特定の「使い道・課題解決プロジェクト」のために行うクラウドファンディング）

答　令和７年度よりクラウドファンディングの仕組みを活用したふるさと納税の寄附を募集していることや、今後も有害鳥獣対策費用の増加が見込まれることから、前向きに検討します。

問　人口減少が進む中、市外に住みながら当市に関心を持ち、訪問やふるさと納税等を通じて関わる関係人口を増やすことが大切と考えるが、市公式ＬＩＮＥを活用した取組は。

答　市政・防災情報や観光・移住などの魅力を発信しており、登録者の約１割が県外の方と推測されます。若年層の転出が多いことから、大学の歓迎会やイベントなどを通じて市外の方へも登録を働きかけ、継続的に市の情報や魅力を届けることで関係人口の獲得に努めています。

問　市ＰＲ動画の再生回数を増やし、より多くの方に知ってもらうために意識していることは。

答　新設したシティプロモーション課を中心に、職員によるインスタグラム「十和田市職員の推しごと」を開設し、ショート動画などで市の魅力を発信しています。「十和田にんにく娘」の活用などインパクトを重視し、冒頭の２秒で惹きつける工夫により多くの再生数を記録しており、今後も発信内容の体系化や充実を図り、市民が誰かに伝えたくなるような情報発信に努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

小笠原　良　子
（日本共産党）

水道料金の基本料金どのように決めているのか

適正なコスト計算に基づき設定

問　他市に比べて水道料金が高いという声を聞くが、基本料金はどのように決めているか。

答　水道事業は、利用料金を主な財源とする独立採算制を基本としており、地理的条件や人口規模に応じた適正なコスト計算（総括原価方式）に基づいて料金が設定されています。特に基本料金は、施設維持や公平性確保に不可欠であり、引下げを行うと財政基盤が弱まり、施設更新や耐震化などの必要な投資が遅れ、水の安定供給に影響が及ぶおそれがあります。そのため、現時点で基本料金を含めた水道料金の引下げは考えていません。本市は広い区域に多くの施設を抱えており運営コストが高くなりやすい構造ですが、一般的な使用条件で比較すると、県内10市の中では３番目に安い水準を維持しています。今後は、人口減少による減収や物価高騰による経費増が続くなか、計画的な施設更新や耐震化を進める必要があるため、いずれは料金の値上げを行わざるを得ないと考えていますが、値上げ幅をできる限り抑えながら、安全で安心な水の安定供給を維持します。

問　基本水量（※）が10㎥と多く、水の使用量が少ない人にとっては高く感じられると思うが、どのように設定しているのか。

（※基本料金の中に最初から含まれている追加料金なしで使用できる水量の上限）

答　10㎥という基本水量を設けている理由は、一般的な４人家族が衛生的な生活を過度に節水することなく、料金を気にせず安心して使えるようにするためであり、その目安として10㎥が設定されています。仮にこの基本水量を０㎥にしたとしても、水道事業を維持するための固定費をまかなう基本料金自体が極端に安くなるわけではありません。